

将棋の魅力を伝えます

令和4年1月に加古川市出身の棋士、横山友紀四段が加古川観光大使に就任しました。加古川の魅力、将棋の魅力についてお話を伺いました。

身に余る観光大使の就任

加古川市は将棋プラザやイベントの開催など、子どもの頃から将棋ができる環境が整っています。私は小学校1年生の頃に始めて、縁あって井上慶太先生の門下生となりましたが、地方だと将棋をはじめたくても教室や先生がないといったことはよくあります。身近にプロと出会って指導を受ける機会があるというのは幸せなことです。生まれ育った加古川市から観光大使



プロ棋士・加古川観光大使
よこやま ともき
横山 友紀 さん

の話が来たときは、「自分なんかでいいのか」と最初は戸惑いました。なんだか身に余り過ぎてどうしようかという気持ちですが、将棋の魅力を伝えられる立場になれたということは非常に嬉しいですね。加古川市は将棋以外にも是非知ってほしい場所もあります。例えば、以前、鶴林寺で開催された清流戦で記録係をした時に、改めて中をゆっくりと歩いてみました。改めて歴史を感じられる素晴らしい所だと思いました。かつめしもそうです。喫茶店には必ずメニューにあるお馴染みの郷土食ですが私は甘めの味付けが好きですね。就任してからSNSにかつめしを出したりはしているんですが、PR力が無く・・・私は得意分野の将棋のPRに徹底したいと思います！

集中力は続かないほう(笑)

よく将棋をしていると「集中力を保つ秘訣は？」と聞かれますが、私はどちらかといえば続かない方で、対局でも粘ると良くない癖がつくので粘らないようにしています。もともと「考えること」が好きなんです。何手も先のいろんなパターンを考えると時間がかかってしまうので、要点を絞って考えるようにしています、必ずしも長時

間集中することが良いこととは考えていません。いかに自身の濃い集中力の時間を作るか、ではないでしょうか。

イベントなどで子供たちに将棋を教えることがあるのですが、将来が楽しみなぐらい上手な子もいて、加古川の未来も明るいなと思っています。私もそれぐらいの時期から将棋を指しながら「将来は何になりたいのか、将棋の道に進むべきか」と揺れ動いていた時期がありました。子供たちの中にはすでに目指すものを決めている子もいると思います。色々悩みながら将来を考えてほしいと思います。そして将棋を一生続けようと思ってくれれば嬉しいですし、そうでなくても将棋は好きであり続けてほしいですね。

将棋の奥深さを届けられるように

私の得意な戦法は「四間飛車^{しけんびしゃ}」ですが、今の私は少し戦法の幅が少なく感じているので、休日も将棋の研究をしています。今後は様々な戦法で見ている方々を楽しませ、そして将棋の奥深さや広さを届けられるような将棋がしたいです。観光大使としても微力ですが「棋士のまち加古川」をPRしていきたいと思っています。今後とも応援よろしくお願いたします。